



第23回

日本乳癌学会 九州地方会

The 23rd Kyushu Regional Meeting of the Japanese Breast Cancer Society

会期 2025年9月6日(土)・7日(日)

会場 久留米シティプラザ

当番 山口 美樹 JCHO久留米総合病院 乳腺外科部長
世話人 岩熊 伸高 NHO九州医療センター 乳腺外科科長

演題募集期間 2025年4月10日(木)～5月16日(金)

<https://jbck23.nksconv.com/>

第23回日本乳癌学会九州地方会 教育セミナー

治療編

製鉄記念八幡病院
乳腺外科
高浪 英樹





The Japanese Breast Cancer Society
since 1992



筆頭演者の利益相反状態の開示

すべての項目に該当なし

今年度のテーマ

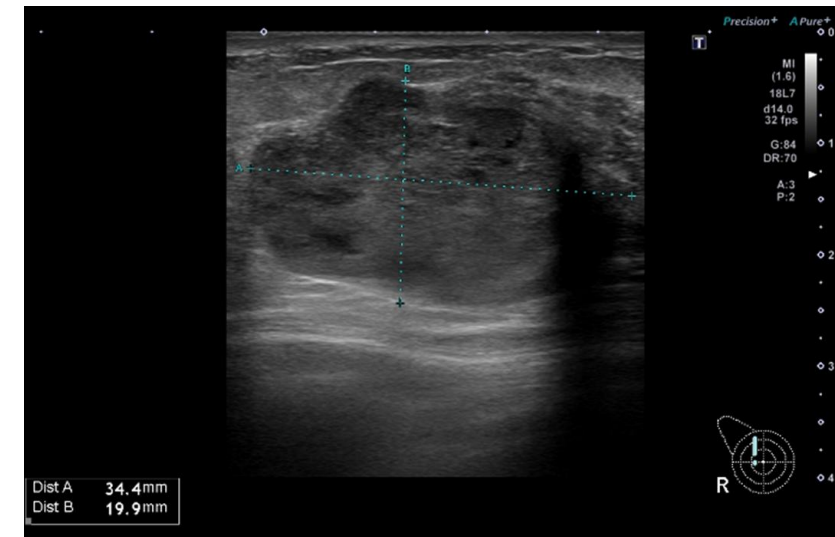
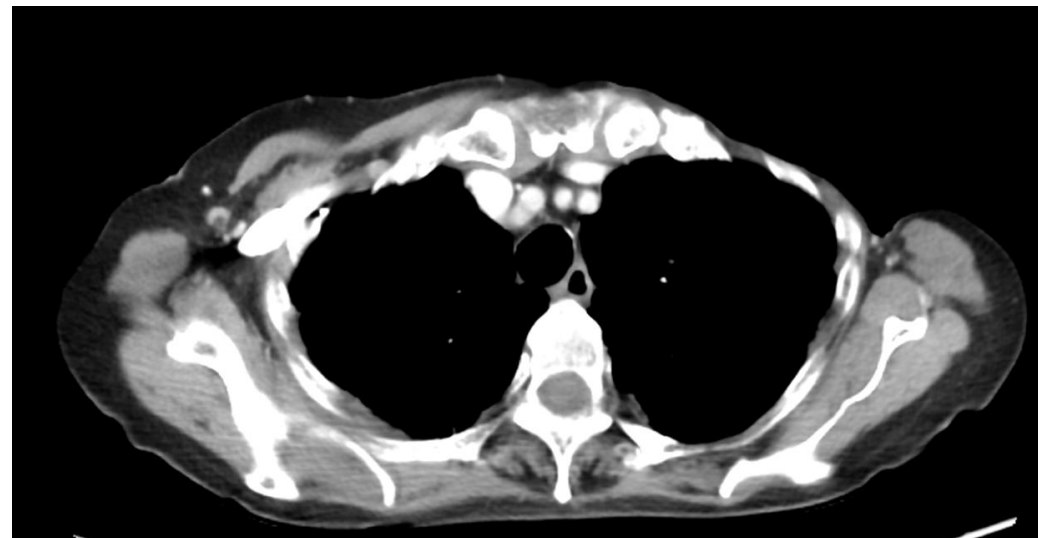
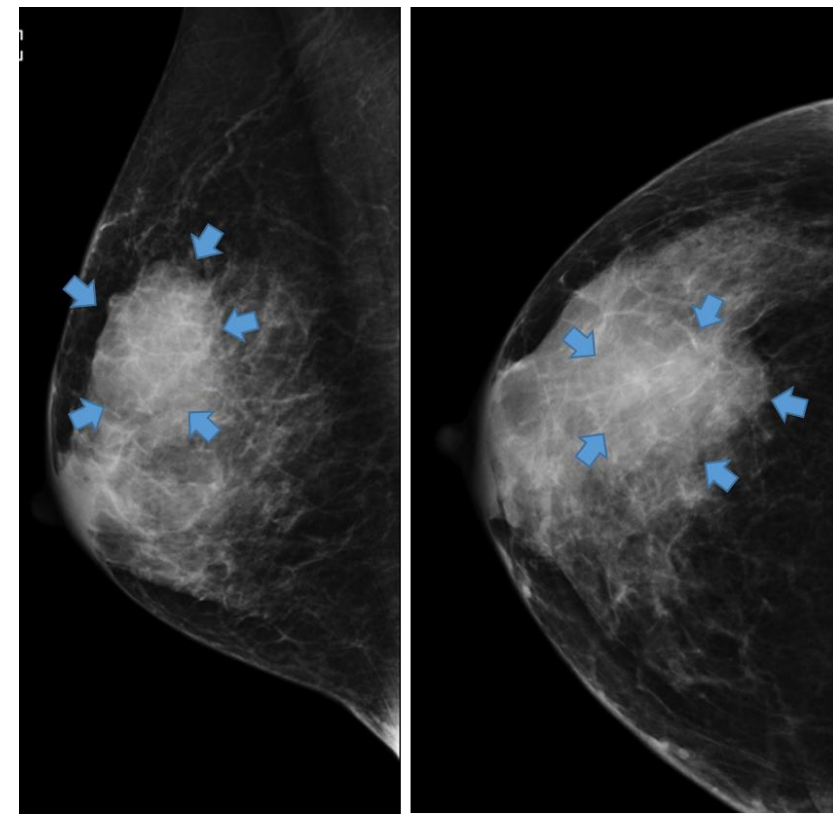
術前化学療法後の標準的薬物治療アップデート

症例1

【症例概要】

KEYNOTE-522に準じて術前化学療法＋免疫療法を受けたTNBC患者

- 患者: 60歳 女性 左乳癌術後
- 主訴: 右乳房腫瘍触知
- 病期: 右乳癌 cT2N0M0 cStage IIA
- ホルモン受容体: ER(-), PgR(-)
- HER2: 2+ (FISH: 増幅なし)
- Ki-67: 70-80%
- 遺伝子検査: gBRCA陰性



【治療経過】

•術前治療: KEYNOTE-522

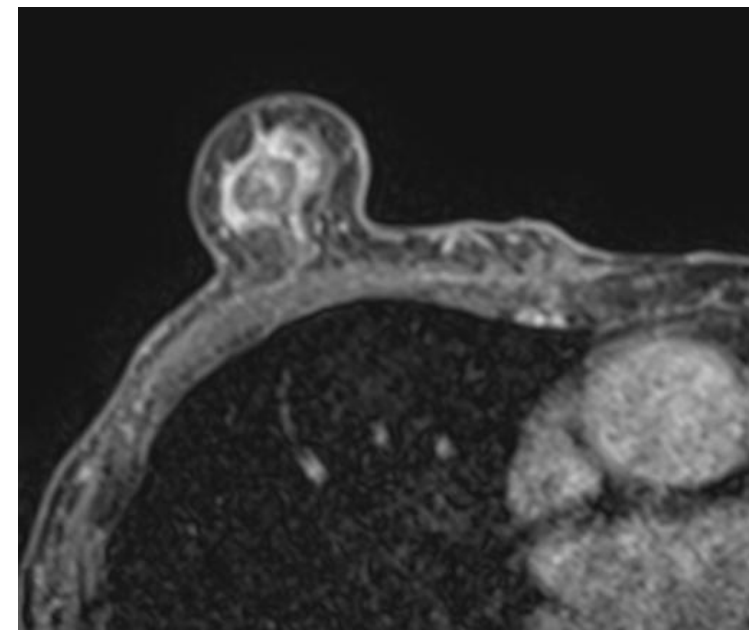
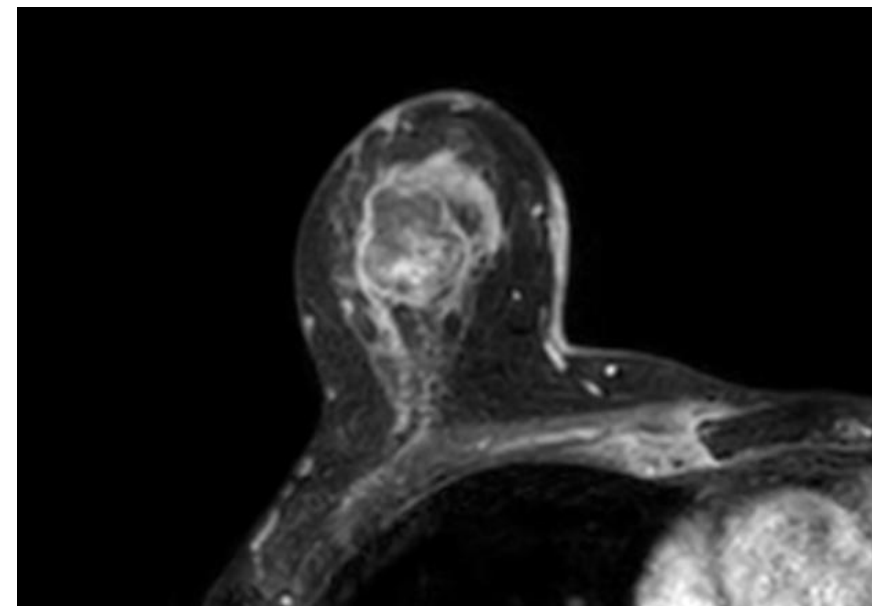
・カルボプラチン＋パクリタキセル＋ペムブロリズマブ (Q1W) 12週

・AC療法＋ペムブロリズマブ (Q3W) 12週

→ 副作用: Grade 2の発疹と甲状腺機能低下症

•手術: 乳房切除術＋SN

→ 病理結果: ypT1cN0M0 ypStage I , Therapeutic effect : 1a
残存病変あり(non-pCR)



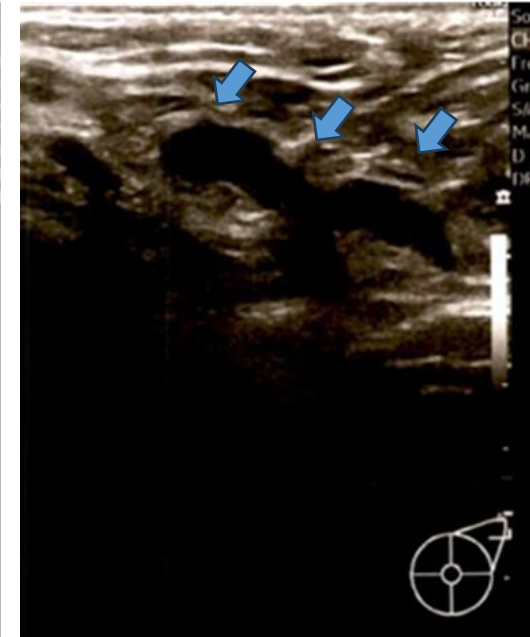
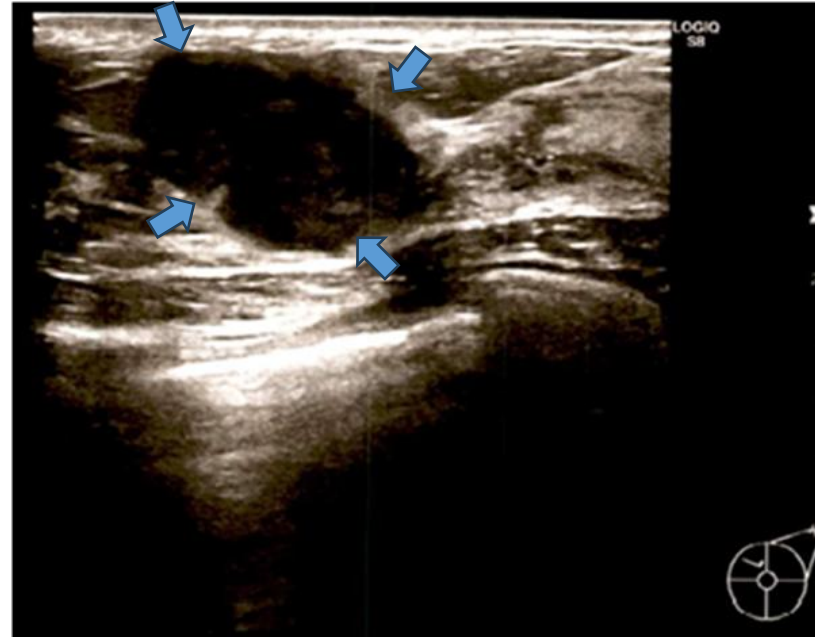
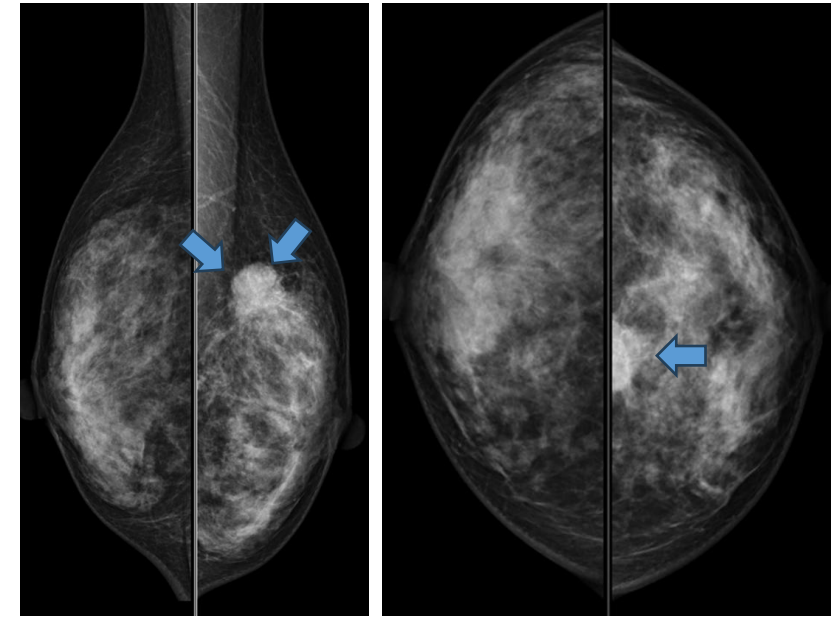
質問

術後の治療方針について教えてください

症例2

【症例概要】 FeDeriCa試験に準じて術前療法を受けたLuminal-HER2患者

- 患者: 40歳 女性
- 主訴: 左乳房腫瘍蝕知
- 病期: 左乳癌 cT2N1M0 cStage IIB
- ホルモン受容体: ER(+), PgR(+)
- HER2: 3+
- Ki-67: 60-70%
- 遺伝子検査: gBRCA陰性



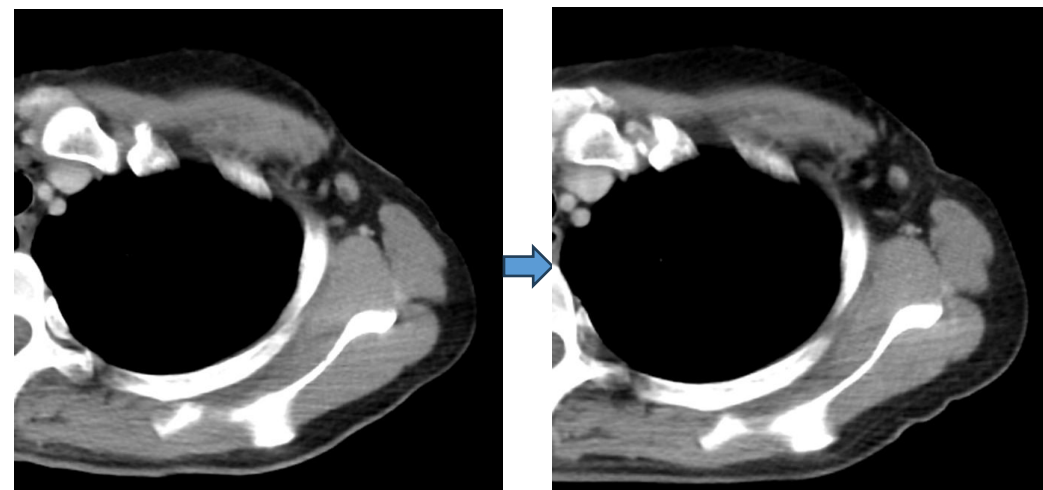
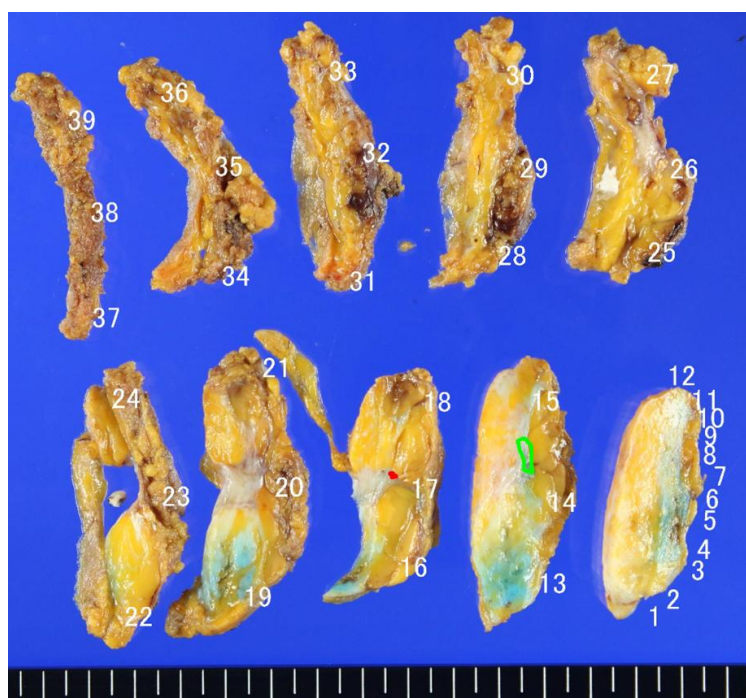
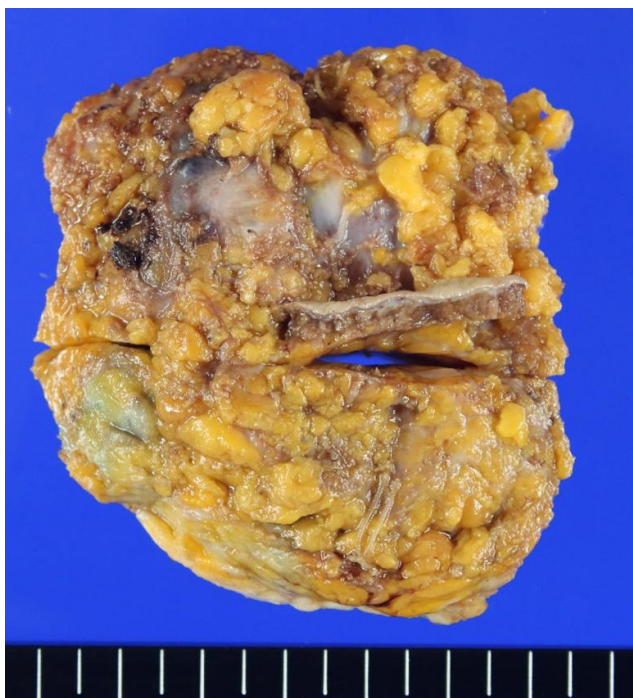
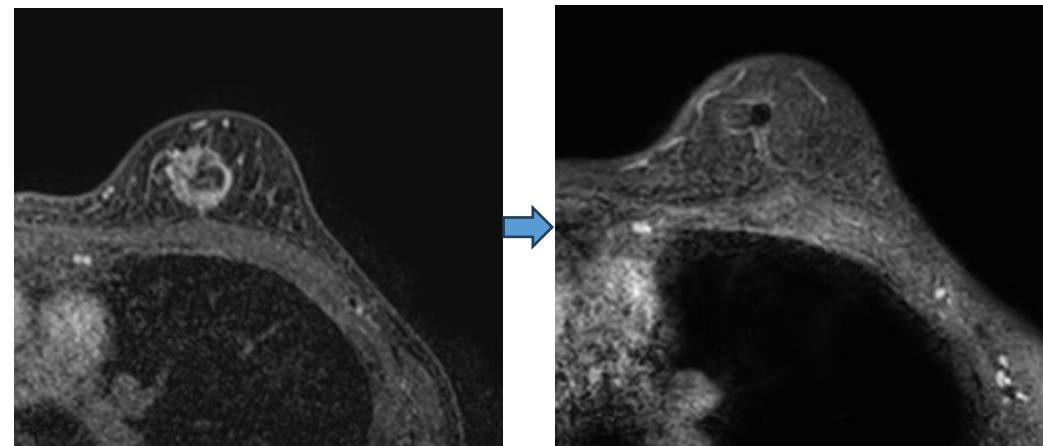
【治療経過】

•術前治療:

- ddAC (ドキシソルビシン + シクロホスファミド) × 4
- wPTX + FESGO® (皮下注 Trastuzumab + Pertuzumab) × 12週

•手術: 乳房切除術 + Tailored axillary surgery (TAS)

→ 病理結果: ypT1aN0M0 ypStage I, Therapeutic effect: 2a
残存病変あり (non-pCR)



質問

術後の治療方針について教えてください